

令和8年度 後期高齢者医療特別会計(経常経費)査定状況

最終更新日:令和8年2月24日

(単位 千円)

No	所属名	款	事業名	要求額			査定額			査定状況
				一般財源	特定財源	要求総額	一般財源	特定財源	要求総額	
1	健康保険課	1款 総務費	後期高齢者医療一般事務費	0	8,472	8,472	0	8,472	8,472	
2	健康保険課	1款 総務費	保険料徴収事務費	0	19,591	19,591	0	19,591	19,591	
3	健康保険課	1款 総務費	滞納処分事務費	0	1	1	0	1	1	
4	健康保険課	2款 後期高齢者医療広域連合納付金	保険料等納付金	3,630,743	498,775	4,129,518	3,683,355	509,903	4,193,258	
5	健康保険課	3款 諸支出金	保険料還付金	0	7,800	7,800	0	7,800	7,800	
6	健康保険課	3款 諸支出金	還付加算金	0	100	100	0	100	100	
7	健康保険課	4款 予備費	予備費	0	400	400	0	400	400	

令和8年度 後期高齢者医療特別会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	1. 総務費	大事業	1. 後期高齢者医療一般事務費
項	1. 総務管理費	中事業	
目	1. 一般管理費	担当所属	健康保険課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	総合計	-
							令和8年度	-
経常	単独	通常	7,819	653	6,189		令和9年度	-
							令和10年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)	財源内訳	使用料及び手数料	繰入金	繰越金				一般財源
本年度当初要求額	8,472	8,472	本年度当初要求額	1	8,461	10				0
本年度当初査定額	8,472	8,472	本年度当初査定額	1	8,461	10				0

<事業に関する説明>

(事業の概要) 後期高齢者医療保険被保険者証の記載内容変更に伴う交付、年齢到達等による新規交付、高額療養費・葬祭費・高額介護合算等の申請受付事務などを行います。	(事業の目的) 千葉県後期高齢者医療広域連合と共に後期高齢者医療制度の運営を行います。	(事業の効果) 後期高齢者医療制度の適正な運営が期待でき、被保険者等へのサービス向上につながります。
(事業実施上の問題点) 被保険者数の増加とともに各種申請等の発送数も増加しています。	(前年度からの見直し点) 被保険者の増加や制度改革による被保険者証及び申請勧奨等の増加が見込まれるため、通信費、印刷製本費を増額しました。	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額	款	項	目	節	細 部 名	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
01	1,762	1,646	116	特定 財 源	02	01	01	01	01 00 総務手数料	1	1	1	0
03	670	620	50		03	01	01	01	01 00 事務費繰入金	8,461	8,461	7,808	653
04	421	375	46		04	01	01	01	01 00 繰越金	10	10	10	0
08	171	109	62										
10	492	492	0										
11	4,956	4,577	379						差引一般財源	0	0	0	0

(佐倉市)

令和8年度 後期高齢者医療特別会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	1. 総務費	大事業	1. 保険料徴収事務費
項	2. 徴収費	中事業	
目	1. 徴収費	担当所属	健康保険課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	総合計	-
							令和8年度	-
経常	単独	通常	18,424	1,167	11,787		令和9年度	-
							令和10年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)	財源内訳	繰入金	諸収入					一般財源
本年度当初要求額	19,591	19,591	本年度当初要求額	10,286	9,305					0
本年度当初査定額	19,591	19,591	本年度当初査定額	10,286	9,305					0

<事業に関する説明>

(事業の概要)・収納率向上のために、普通徴収に関して口座振替、コンビニ収納等のあらゆる手法を取り入れ、また、令和2年度から債権一元化をし、徴収の困難案件については債権管理課で対応しています。 ・困難案件になる前の滞納者に対しては、滞納整理と電話催告を実施します	(事業の目的)・千葉県後期高齢者医療広域連合が賦課決定した保険料の徴収事務を実施します。	(事業の効果)・保険料徴収の向上により、安定した後期高齢者医療の療養給付を実現します。
(事業実施上の問題点)被保険者数の増加とともに通知書等発送数が増加しています。	(前年度からの見直し点)被保険者の増加が見込まれるため、印刷製本費、通信費及び委託料を増額します。	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額	款	項	目	節	細 部 額	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
10	7,412	6,509	903	03	01	01	01	01	00 事務費繰入金	10,286	10,286	10,240	46
11	8,803	8,539	264	05	03	01	01	01	00 賦課徴収帳票作成等業務委託金	9,305	9,305	8,184	1,121
12	3,376	3,376	0										
差引一般財源										0	0	0	0

(佐倉市)

令和8年度 後期高齢者医療特別会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	1. 総務費	大事業	1. 滞納処分事務費
項	2. 徴収費	中事業	
目	2. 滞納処分費	担当所属	健康保険課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	総合計	-
							令和8年度	-
経常	単独	通常	1	0	0		令和9年度	-
							令和10年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)	財源内訳	繰入金							一般財源
本年度当初要求額	1	1	本年度当初要求額	1							0
本年度当初査定額	1	1	本年度当初査定額	1							0

<事業に関する説明>

(事業の概要) 後期高齢者医療保険料を不当に滞納する者に対し処分をすることで、適切な保険料負担を実現します。	(事業の目的) 後期高齢者医療保険料の滞納者に対する滞納処分	(事業の効果) 保険料を不当に滞納する者に対し、処分を実施することで公平適切な保険料負担を実現します。
(事業実施上の問題点) 後期高齢者医療制度の滞納処分への批判もあるため、処分の実施は慎重を要します。	(前年度からの見直し点) 前年同様、最低限の予算で要求します。	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額	款	項	目	節	細 部 額	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
11	1	1	0	03	01	01	01	01	事務費繰入金	1	1	1	0
									差引一般財源	0	0	0	0

(佐倉市)

令和8年度 後期高齢者医療特別会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	2. 後期高齢者医療広域連合納付金	大事業	1. 保険料等納付金
項	1. 後期高齢者医療広域連合納付金	中事業	
目	1. 後期高齢者医療広域連合納付金	担当所属	健康保険課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	総合計	-
							令和8年度	-
経常	単独	通常	3,527,147	602,371	3,488,167		令和9年度	-
							令和10年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)	財源内訳	繰入金						一般財源
本年度当初要求額	498,775	4,129,518	本年度当初要求額	498,775						3,630,743
本年度当初査定額	509,903	4,193,258	本年度当初査定額	509,903						3,683,355

<事業に関する説明>

(事業の概要) 市が徴収した保険料及び低所得者軽減にかかる保険基盤安定拠出金を納付します。	(事業の目的) 市が徴収した保険料及び低所得者軽減にかかる保険基盤安定拠出金の納付を行います。	(事業の効果) 負担金を適切に納付することにより、千葉県後期高齢者医療広域連合が行う療養給付の費用の一部を支えます。
(事業実施上の問題点) 保険料の見直しによる増額、均等割額の軽減基準の拡大等により、軽減分を補う保険基盤安定拠出金が増加となりました。 。	(前年度からの見直し点) 被保険者の増加が見込まれるため、要求額も増加しています。	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額	款	項	目	節	細 部 額	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
18	4,193,258	3,527,147	666,111	03	01	02	01	01	00 保険基盤安定繰入金	498,775	509,903	459,474	50,429
									差引一般財源	3,630,743	3,683,355	3,067,673	615,682

(佐倉市)

令和8年度 後期高齢者医療特別会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	3. 諸支出金	大事業	1. 保険料還付金
項	1. 償還金及び還付加算金	中事業	
目	1. 保険料還付金	担当所属	健康保険課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	総合計	-
							令和8年度	-
経常	単独	通常	7,800	0	4,955		令和9年度	-
							令和10年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)	財源内訳	諸収入						一般財源
本年度当初要求額	7,800	7,800	本年度当初要求額	7,800						0
本年度当初査定額	7,800	7,800	本年度当初査定額	7,800						0

<事業に関する説明>

(事業の概要) 過年度保険料の過誤納還付の適切な事務執行をします。	(事業の目的) 適正な保険料負担の実現	(事業の効果) 過年度過誤納保険料の精算
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点) 不足を生じないよう昨年同様の要求します。	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額	款	項	目	節	細 部 額	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
22	7,800	7,800	0	05	02	01	01	01	00 保険料還付金	7,800	7,800	7,800	0
									差引一般財源	0	0	0	0

(佐倉市)

令和8年度 後期高齢者医療特別会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	3. 諸支出金	大事業	1. 還付加算金
項	1. 償還金及び還付加算金	中事業	
目	2. 還付加算金	担当所属	健康保険課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	総合計	-
							令和8年度	-
経常	単独	通常	100	0	5		令和9年度	-
							令和10年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)	財源内訳	諸収入						一般財源
本年度当初要求額	100	100	本年度当初要求額	100						0
本年度当初査定額	100	100	本年度当初査定額	100						0

<事業に関する説明>

(事業の概要) 過誤納還付金精算に伴う加算金を支出します。	(事業の目的) 過誤納保険料還付金に対する加算金	(事業の効果) 過誤納保険料還付金に対する加算金の経費
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点) 不足を生じないよう例年通り要求します。	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額	款	項	目	節	細 々 節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
22	100	100	0	05	02	02	01	01	00 還付加算金	100	100	100	0
									差引一般財源	0	0	0	0

(佐倉市)

令和8年度 後期高齢者医療特別会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	4. 予備費	大事業	1. 予備費
項	1. 予備費	中事業	
目	1. 予備費	担当所属	健康保険課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	総合計	-
							令和8年度	-
経常	単独	通常	400	0	0		令和9年度	-
							令和10年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)	財源内訳	繰入金							一般財源
本年度当初要求額	400	400	本年度当初要求額	400							0
本年度当初査定額	400	400	本年度当初査定額	400							0

<事業に関する説明>

(事業の概要) 後期高齢者医療特別会計での予算不足緊急分に対応します。	(事業の目的) 不足緊急の支出の予備費	(事業の効果) 想定外の支出、予算超過の支出に充当する経費、不足に事態における特別会計の適切な執行、未払い金の防止
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額	款	項	目	節	細 部 額	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
28	400	400	0	03	01	01	01	01	事務費繰入金	400	400	400	0
									差引一般財源	0	0	0	0

(佐倉市)